

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○		○	○	○		○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社ネオジャパン	本社所在地	神奈川県
業種	情報通信業	総従業員数	126人
事業概要	パッケージソフトの開発・販売 / クラウドサービス コンサルティングからアプリケーション・システムの企画/設計/開発 ネットワークインフラ構築等 システムにかかわるあらゆるサービスを統合的に提供		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール策定
テレワーク担当部署	総務部
テレワーク対象者	全従業員
実施者数	110人
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

コロナ禍に伴い、事業継続、従業員の安全を守るために社内全体で導入。2020年4月から導入し、現在も継続中。

テレワークの概要・特徴

・テレワーク制度の概要・特徴

以前より、弊社製品グループウェア・業務アプリ作成ツール「AppSuite」を使用し、紙・メール・ExcelをWebシステム化。また、今回のテレワーク導入に伴い、社内全体をテレワーク可能にし、これまで難しいと捉えていた、カスタマーサービスや営業、開発エンジニアにも拡大した。

・テレワークの活用拡大や定着、効果的な運用のために工夫した点

社内に根付くために、文書を自社製グループウェア内社内掲示板で周知させた。その他の取組みとして、勤務する時間を柔軟に設定。(但し、0時~5時/22時~24時の間の勤務は禁止)

日々合計8時間分(時短勤務者の場合は時短設定時間分)の勤務時間とした。

・テレワークでの長時間労働を防ぐための具体的な取組

弊社のグループウェア「desknet'sNeo」による勤怠時間の管理により、休憩時間1時間と適切な労働管理を行っている。その他弊社のビジネスチャット「ChatLuck」を使用し、就業開始、就業終了などコミュニケーションを図っている。

・その他、今後テレワークを導入する団体の参考になる知見 等

2020年3月~6月末まで、グループウェア「desknet's NEO」、ビジネスチャット「ChatLuck」を無償提供し、200社以上のお客さまの申込があった。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

・テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果

平均残業時間が昨年同月比8.1%に減少した。

・テレワーク導入にあたり、ICTの利活用

テレワークを前提として、営業活動を積極的に行った。移動時間もなく、より多くの取引先との対話が進んだ。コールセンターの在宅勤務・システム運用者・開発担当の在宅勤務も同様。また、弊社のグループウェア「desknet's NEO」のユーザーさま向け、新規導入検討のお客さま向けに便利な活用方法のWEBセミナーを多数開催した。

・地方への移住や地方活性化等の取組や成果

弊社のグループウェア「desknet'sNeo」、ビジネスチャット「ChatLuck」をお使いいただき、地方自治体の抱える人手不足や効率化、DX推進を支えている。また、弊社の製品サイトで地方自治体の特産物、観光、移住など地方の魅力を全国に向けて発信している。
※情報共有で地方活性化 ふるさとコミュニケーションサイト「ふるコミュ」

<https://www.furusato-pr.jp/>

・その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例

2020年3月~6月末まで、グループウェア「desknet's NEO」、ビジネスチャット「ChatLuck」を無償提供し、200社以上のお客さまの申込があった。IT投資がほとんどできていない中小企業のお客さまは急な事態に非常にお困りだったが、「すぐにテレワークが始められ、事業継承ができた」とのお声を多数いただいた。